

キエフ政府の東ウクライナに対する公的政策

——飢餓、拷問、強姦、殺人

【訳者注】これはウクライナ東部で起こっている恐ろしい現実を、ありのまま詳細に報告するもので、今にも起ころうとしているキエフの大攻勢を予告している。これでも日本の新聞は、反政府軍が休戦協定を破って先に攻撃してきた、などと書くつもりだろうか？ メディアは戦争協力をやめよ。

By George Eliason

Global Research, December 30, 2014

米上院の議場の演台に「ファーガソンを占領するぞ！」と書いた張り紙がしてあり、そこに米国旗を立てた装甲車が、死体の山を踏み潰している絵が描いてあったと想像してみよ。下に示すこの絵は、ドンバスについてそのように書いてある。これがこの地域に対する大量殺人についてのキエフの公的声明だ。これがウクライナ議会の議場の演台に張り付けてある。



ペトロ・ポロシェンコ大統領とその政府は、もうこれ以上、ジェノサイドに対する告発をかわすことはできない。

12月18日、新しく任命された国会議員、前ドンバス大隊指揮官 Semen Semenchenko は、ウクライナ政府は、ドンバスのテロリストを世界のどこまでも追いかけるつもりだと警告した。セメンチェンコが追いかけると言っているドンバスのテロリストとは、反テロリスト作戦が始まったとき、逃げなかった者すべてを指している。

<http://www.politnavigator.net/semen-semenchenko-terroristov-s-donbassa-smozhem-dostavat-v-lyubojj-tochke-zemnogo-shara.html>

前アゾフ大隊指揮官で、ウクライナ国家理念家、ビクトリア・ヌーランド一統の寵児である Andrey Biletsky (アルセニー・ヤツェニユクによって代議士にしてもらった) は、*Foreign Policy*とのインタビューで、それらのテロリストが誰々であるかを明らかにした。

<http://www.opednews.com/articles/Ukraine-Punisher-Commander-by-George-Eliason-John-Birch-Society-John-Boehner-John-Brennan-Killed-141118-862.html>

「不幸なことに、今日ウクライナ人民の中には、多くの“ロシア人”（血でなく精神構造によって）、ユダ公、アメリカ人、ヨーロッパ人、アラブ人、中国人などが混じっているが、生粋のウクライナ人はあまりいない。…こうした危険なウイルスどもをわが国民から根絶するには、どれくらいの時間と努力を要するか明らかでない。」

ウクライナ大統領候補として育てられている新議員のビレツキーは、彼を操るアメリカ人をすら、ウクライナを侵すウイルスの一部と考えている。

強姦は公的にウクライナの政策？

(ナチスの印の入った) 彼の Azov 大隊は、毎夜マリウポルで、捕らわれた女性捕虜を集団強姦し、拷問し、その一部を殺すことによって、彼らの、本当のところはアメリカとヨーロッパの価値観を示している。これは、アメリカ人と民主的価値を根絶すべき危険なウイルスだと言っている者のやっていることで、しかもアメリカ人の税金がここでも使われている。



Rita Samoilov による 12 月 25 日の「ハルコフ・ニュース」に発表された記事によれば、捕虜収容所 No.107 の 15~20 人の女性捕虜が、毎夜、軍事キャンプに連行され、アゾフ大隊によって強姦されている。今年もっと早くに、私は、南 Krynka の鉱山で、Aydar 大隊によって同じことが行われていることを報告した。これは、5000 以上のウクライナの民族浄化軍と、地方国軍がキャンプしていた場所で発見された、集団強姦と拷問と集団墓地の報道につながった。この申し立てを調査した OSCE（欧州安全保障協力機構）は、これを事実と認めた。キエフはこれに対し、Aydar をウクライナの新しい警察モデルにすると応えた。

事後の拷問の犠牲者を治療しているある病院の看護婦の一人は、捨てられた女性たちの一部の命を救うために、彼らの膣や肛門の内部に **construction foam** を詰める作業をしていると言っている。もともと、リタ・サモイロフにこの話を聞かせてこれを明るみに出したのは、この収容所で働いていた人物だった。

これらの女性たちがこのように扱われるのは、所持する電話に親ナチスの接触の跡がないことが十分な逮捕の理由になる都市で、テロリストと判断されたことによる。ウクライナのナチスにとっては、同僚兵士でも、女性捕虜と同じように強姦してよいのだろうか？

<http://www.opednews.com/articles/Ukraine-Punisher-Commander-by-George-Eliason-John-Birch-Society-John-Boehner-John-Brennan-Killed-141118-862.html>

マリウポリでは、ウクライナ政府が、女性の刑罰上の安寧に直接の責任がある。アメリカの知事がこの種のスキャンダルで無事に放免されるだろうか？ もし Rick Perry 知事が、これほど大きな州による犯罪が行われていることを、知っていたと疑いをかけられただけでも、マスコミは大々的にこれを取り上げるだろう。調査は速やかに行われ、彼自身はその指揮からはずされるだろう。

5月の大虐殺の後でウクライナ化した、とポロシェンコが評したオデッサでは、ウクライナ政府が戦車と装甲車を持ち込み、分離主義者狩りを行っている。2014年12月30日に到着した浄化隊は、社会メディアのリストを調べて、ウクライナに敵対するどんなこともしない人々を逮捕している。

はっきりさせよう。これはキエフ側では、国家の承認した強姦や拷問ではない。これはキエフ政府が強姦と拷問の被害者を提供しているのである。女性たちは収容所において、その多くは分離主義の罪を着せられている。これは、踏み込んでこれを調べようとしないキエフを支持する、ウクライナの外のあらゆる国家や政府によって承認された、国家の承認する捕虜の強姦である。

殺人が財政計画の基礎となるウクライナ

なぜ人々はこんなことを志願するのだろうか？ ある二度捕まったウクライナの志願兵のこの質問への答えは、なるほどと思わせる。彼らは彼がなぜ戻ってきたのかと訊ねた。この志願兵（徴用兵でない）は、彼が最初ドンバスに来た時には、車を買えるほどのカネを稼いだ。彼が戻ってきたわけは、今度は家を買うカネを稼ぐためだと言った。

この殺してなんぼの精神構造は、民族浄化部隊の内部で支配的になっている。これらの部隊がほとんどの残虐行為を行っており、一定の報酬を狙ってそれをやっている。今日のウクライナ国会を見るがよい。彼らは人々を退去させる分だけの土地を獲得する。そうするためには、これらの都市や町や家の人々はどこかへ行かなければならない。脅してだめなら殺せばよい。

Livejournal に載ったある論文によれば、2014年6月以来、土地管理局 Goszemagentstva（土地資源省）の、ATU 軍隊員と死亡兵役軍人の家族たちの土地請求申請書が、15,582 件に及んでいる。

<http://variag-2007.livejournal.com/7360923.html>

これらは、ウクライナ政府によって与えられる土地の下賜が、分離派を追い出すのにいかに有効に働いているかを示している。民族浄化部隊は戦争で戦うのではない。彼らは殺して奪っている。彼らは拷問し強姦している。彼らは、殺され追い出された者たちから奪った所有物を、取っておくなり売るなりするために、トラクターのトレーラー車に積み込む。彼らはそれを楽しんでいる。

ウクライナにおける言論の自由、法と秩序

ハルコフ市はドンバス地区の外にある。それはこれまでずっと、そして今も、ウクライナの支配下にある。ハルコフには強力な反マイダン運動がある。この新しい民主的ウクライナにおいて、11月22日、Victor という、反マイダン・グループのフェイスブック編集者が逮捕され、SBU（ウクライナのFBI）に連行されて訊問された。この編集者はこのグループのために投稿記事を発表していた人物である。

明らかにドンバスにいたのでもなく、民兵団の一員でもないヴィクトルは、4日にわたって拷問を受け、仮死状態のまま道路わきに捨てられた。彼は意識を取り戻すことなく、11月26日に死んだ。病院の診断書の公的な死因は肺炎であった。その4日前にヴィクトルの家族は、彼は健康だったと言っている。

ヴィクトルの指は全部折られ、手の反対側に曲げられていた。彼の指爪は引き抜かれ、肋骨はすべて折られていた。頭蓋骨は割られていた。これは単に訊問であって、彼は正式に告訴されていたのではない。

これは、戦争に参加しない人々の誰にでも“大赦”を約束した、同じキエフ政府の所業である。これは現在、Lviv（西ウクライナ、ガリシア）からドンバスの外の中立地帯の、キエフが支配している地域にいたるまで、ウクライナ全土で起こっていることだ。公的なウクライナ式の訊問方法が行われていない唯一の地域は、ドンバスである。

人道的な壁についてのウクライナの公的立場

ウクライナでは、ニュースは公的なチャンネルを通して清められるまで、報道されない。これに逆らう報道記者は、運が良ければ仕事を失うだけだが、運が悪ければ、徴用兵としてドンバスの最前線に送られる。世論を形成しようとして、ニュース報道者の Natalya Stanko は、キエフはドンバスを爆撃して一気に消し去るがよい、爆撃の方がより高貴で、餓死させるのは時間がかかりすぎるから、と堂々と述べた。彼女が使った“死”という言葉は、汚らしい望まない生物に対して使う言葉 [“駆除”?] で、人間に対して使うものではない。

下のビデオでは、ウクライナ国会議員の Semen Semenchenko が、彼らが人道支援物資をドンバスに送らないわけは、そこには人道的危機が全く存在しないからだと説明している。彼によれば、もし支払いを止められた年金受給者が、それを復活させたければ、スラヴィヤンスクのようなウクライナの支配する都市へ行って、申請するだけでよいのだと言っている。

セメンチェンコは次に、彼らが差し止めた人道物資は、ある本当に人道的な危機にある別の

市——この夏以来キエフの支配下にある市——のために必要だったと述べた。その住民が、ドンバスの年金生活者でも得られると彼が言うような年金、日用品、暖房を得ているなら、これはどういう意味なのか？

セメンチェンコは、市の住民票（Propiska）がなければ、どんなものも申請できないという事実を完全に抜かしている。

https://www.youtube.com/watch?v=YmibL_isu8s

ウクライナ政府の立場はまた、この数日間、ドネツクの近くを荒らしている戦車による戦闘からも明らかだ。中立地帯ということになっている地域内の町々も、ウクライナの戦車隊の攻撃を受けている。ドンバス内の町々はキエフに奪われていたが、最近数日の昼夜の間に取り返された。攻撃は続いている。キエフはミンスク合意つまり休戦協定を守ったことはない。

こうしたことは、もしキエフが再び本格的な攻撃が始めたら、小さく見えるだろう。和平が始まって以来、彼らはずっと武器・弾薬の輸送車をドンバス内へ移動させている。彼らが行っている探りの攻撃は、大攻勢がすぐにも、おそらく数日中に始まることを示している。

アメリカとヨーロッパのカネが、これを援助するのに使われるのだろうか？

ドンバスの人道的危機は急速に増大しつつある。現在のところ、直接の援助は唯一ロシアから来るだけである。どうか、ドンバスで直接働いている人道支援グループへの寄付をお願いします。